

住宅火災で死者が発生しました

令和元年12月17日、和泉本町四丁目の火災により死者が発生しました。

東京消防庁管内で発生した住宅火災（本年中）のうち、死者が発生した火災の出火原因は、**たばこ・ストーブ**で半数を占めています。日ごろから火災予防に努めましょう。

STOP！たばこ火災

- 寝たばこは絶対にしない
- 灰皿は水を入れて使う
- 就寝前には吸いがらの確認をする



STOP！ストーブ火災

- 燃えやすいものは近くに置かない
- 外出・就寝前には火を消す
- ストーブの上には洗濯物を干さない



STOP！こんろ火災

- 点火・消火を必ず確かめる
- そで口や体が火に触れないように注意する
- その場を離れる時は、必ず火を消す



お問合せ先 狛江消防署警防課防災安全係 03 (3480) 0119

内線 311・323

着衣着火防止のポイント

- 調理中は、マフラー・ストールなどは外し、すそや袖が広がっている服を着ている時は、特に炎に接しないように注意しましょう。
- こんろの奥に、物を置かないようにしましょう。
- こんろのまわりは、整理整頓をしましょう。
- 鍋等の底から炎がはみ出さないよう、適切な火力に調整しましょう。
- カセットこんろ等は取り扱い説明書を、よく読んで正しく使いましょう。
- 金属製湯たんぽは、直接火にかけると危険です。



防災品を使いましょう！

火が接しても着火しにくい防災品のエプロン・アームカバーを使い、調理中の着衣着火を予防しましょう。

**一人暮らしのお年寄りへの
プレゼントにもおススメです！！*

もし着衣に火が着いてしまったら…

脱ぐ、たたく、水をかけるなどして早急に消火し、
119番通報を行いましょう！！

(例)



このラベルが
目印！